目次 / パーツリスト

目次

目次 / パーツリスト ・・・・・・・・・・・・・・・・1
本製品の機能 / 特長 ・・・・・・・・・・・・・・・・2
ご使用になる前に（必ずお読みください）・・3～4
各部名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
初めに初期設定をおこなう ・・・・・・・・・・・・6
初期設定のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・7
車種設定値一覧表・・・・・・・・・・・・・・・・・8
保安基準設定のしかた・・・・・・・・・・・・9～10
普段の使いかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・11
車高と車高設定値の関係 ・・・・・・・・・・・・12
車高設定方法-初級編- ・・・・・・・・・・・13～14
車高設定方法-中級編- ・・・・・・・・・・・15～16
車高設定方法-上級編- ・・・・・・・・・・・17～18
ハイトモニターモード ・・・・・・・・・・・・・19
スピードメーターモード ・・・・・・・・・・・・20
車速感応ハイトコントロール機能-設定編-・21～22
車速感応ハイトコントロール機能-動作編-・23～24
故障かな？と思ったら ・・・・・・・・・・・・・25
アフターサービス・メーカー保証について・・・26

パーツリスト（取り付け作業前にご確認ください）

ASE663 本体 ×1
本体取付ステー ×1
取付用両面テープ ×1
取扱説明書（本書）×1
保証書/ユーザー保証登録カード ×1

※本製品の取り付けには、別売の車種別専用ハーネスが必要です。

本製品の取り扱いの流れについて

①本書に記載されている注意事項（3～4ページ「ご使用になる前に」）を必ず全てお読みください。また、各項目内の注意事項も必ずお読みください。

②本製品を車両に取り付けます。※ 取り付けには別売の車種別専用ハーネスが必要です。取付説明書（取り付け時の注意）も必ずお読みください。

③**ご使用になる前に必ず初期設定をおこなってください。**
初期設定は 2 項目あります。詳しくは6ページを参照してください。

④各機能について本書をよくお読みになり、ご理解の上ご使用ください。

本製品の機能 / 特長

機能

●車高設定機能
前後独立してエアサス車16段階＋スーパー LOW、アクティブサス車は最大8段階＋スーパー LOW の車高設定が可能です。

●左右バランス調整機能
フロントのみ左右バランスを調整できます。

●保安基準モード
車高設定段階と走行中の操作が制限されます。解除可能。

●ハイトメモリー機能
3つの車高設定値をあらかじめメモリー、ノーマルを含めて4つの車高設定値をスイッチ1つで簡単に切り替えることができます。

●ハイトモニター機能
車高センサーから送られてくる車高データを3段階バーグラフで表示、車高の高さを車内で確認できます(表示は絶対的なものではありません。あくまで目安としてお考えください)。

●スピードメーター機能
1km/h 単位で最高300km/h まで表示可能なデジタルスピードメーターを装備。

●車速感応ハイトコントロール機能
予め設定した車速になるとハイトメモリーを自動切り替え。エアサス車純正機能のように、高速走行時に少しだけ車高を下げて安定感を増したり、走行開始と同時に車高をノーマル程度まで戻して安全性を確保するなど、お好みに応じた自動車高制御が可能です。

●各種安全機能
車高の下がりすぎや上がりすぎ時に起こるLOWロック・HIGHロック(車高制御停止)を完全回避。高速走行時に自動的に車高が下がる純正機能をカットし、高速走行時の余計な車高変化を抑えます。車高設定時に速やかに車高変化が開始されるクイックレスポンス機能を搭載。

ご使用になる前に（必ずお読みください）

注意事項の定義

ご使用の前に、この「ご使用になる前に」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 危険	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの
⚠ 警告	守らないと法律に違反する恐れがあるもの
⚠ 注意	守らないと車両及び製品を破損、または故障させる恐れがあるもの
⚠ 重要	本製品を使用する上で知っていただきたいもの

⚠ 危険

- ●車高を変化させた状態での走行は大変危険ですので、必ずノーマル車高に戻してから走行してください。
- ●走行する際は、車高設定を「-no-」または車高設定値をすべて「0」にしてあるメモリーを選択してください。保安基準以下の車高（特にスーパー LOW）設定後に走行する場合、「-no-」またはすべての車高設定値「0」の車高まで上がりきったことを確認してから走行してください。
- ●車高を変化させた状態での走行は絶対にしないでください。車高を変化させた状態での走行は、アライメント変化などから、タイヤの異常磨耗やトラクション不足、ハンドリング異常などを引き起こし、また、乗り心地悪化の原因となります。
- ●運転者が運転中に、本製品の操作をしないでください。事故や誤操作の原因となる場合があります。

⚠ 警告

- ●車高を下げた状態で公道を走行すると、違法となる場合があります。
- ●本製品を使用して発生した違法行為・安全義務違反による罰金・減点などに関しての責任は一切負いません。

⚠ 注意

●本製品を使用中、またはイグニッションスイッチ OFF 後3分間は本体および専用ハーネスを外さないでください。外すと本製品および車両のエアサス / アクティブサスコンピューター故障の原因となります。

●本製品は車高センサーを故意に調整して車高を変化させたり、サスペンションシステムの改造・加工等をおこなっている車両には適合しません 。

●車高を変化させた状態では絶対に走行しないでください。車高を変化させた状態で走行すると、サスペンションに負担がかかりサスペンション破損の原因となります 。

●特に車高を下げた状態で段差、急な坂道、わだち等を走行しないでください。ボディ(スポイラーなど)と地面・輪止め等との接触による車両の破損、損傷または事故の恐れがあります。

●本製品はノーマル車両をベースに設計されています。純正または純正と同サイズのタイヤ・ホイール以外のインチアップホイール、ワイドタイヤ装着車、またはスペーサーによるワイドトレッド化された車両には、本製品を絶対に使用しないでください。タイヤと車体(フェンダー・サスペンション等)の接触による車両の破損、損傷または事故の恐れがあります。

⚠ 重要

●本製品は車高を変化させた状態での走行を目的として開発されたものではありません。

●本製品を使用したことによるエア (アクティブ) サスペンションシステムに関連するすべて(サスペンション本体・コンプレッサー・車高センサー・サスペンションCPU 等)の故障・損傷・破損および車体(ボディ・エアロパーツ・タイヤ・ホイール・マフラー等)の故障・損傷・破損において当社では一切の責任を負いません。

●「保安基準モード」での車高設定範囲であっても、車両個々の状態・エアロパーツや社外マフラー・インチアップホイールの装備状況などによっては保安基準内の最低地上高を確保できない場合があります 。

●車両側に異常がある場合、本製品が正常に作動しない場合があります。

●本製品は車種別専用ハーネスが設定されている車種専用です 。車種別専用ハーネスが設定されていない車種には取り付けできません。また、車種別専用ハーネスが設定されていない車種への取り付けに関するサポートは一切おこなっていません。

●日産アクティブサス車の場合、サスペンションの特性上、車高を下げた状態でイグニッションスイッチを OFF にすると車高がノーマルに戻ります。

●本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損等の責任は一切負いません。

●本製品に貼付されている封印シールをはがさないでください。はがすと保証期間に関わらず、保証対象外となります。

各部名称

① MODEスイッチ

車高設定モード/ハイトモニターモード/
スピードメーターモードを切り替える。

② SETスイッチ

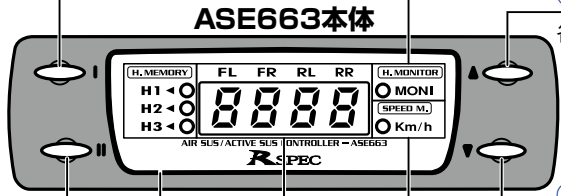
各設定値表示中に押すと設定値が点滅し、
設定変更可能となる。
点滅中に押すと設定値が確定し点灯となる。

③ ハイトインジケーター

選択しているハイトメモリーを表示する。

④ ディスプレイ

車高設定値やハイトモニターなどの各種表示
をおこなう。



⑤ ハイトモニターインジケーター

ハイトモニター選択時に点灯する。

⑥ UPスイッチ

各設定値及びハイトメモリーを切り替える。

⑦ DOWNスイッチ

各設定値及びハイトメモリーを切り替える。

⑧ 速度インジケーター

スピードメーター機能選択時に点灯する。
また、車速感応ハイトコントロール機能設
定時及び動作時に点滅する。

スイッチクリック音について

各スイッチを押すと、次のようなクリック音が鳴ります。

- ●モードを切り替えるとき……「ピピッ」
- ●各種設定値の変更時……「ピッ」
- ●各種設定値の変更を決定したとき……「ピーッ」
- ●ハイトメモリーを「-no-」(ノーマル状態)にしたとき……「ピピピッ」
- ●操作無効なスイッチを押したとき……クリック音なし

初めに初期設定をおこなう

⚠ 重要 **初期設定をおこなわないと、車両や本機の故障、または思わぬ車高変化による重大事故を引き起こす恐れがあります。**

初めて電源を入れた時

自動的に初期設定画面を表示します。

7ページ「初期設定のしかた」2へ

初期設定を変更する時

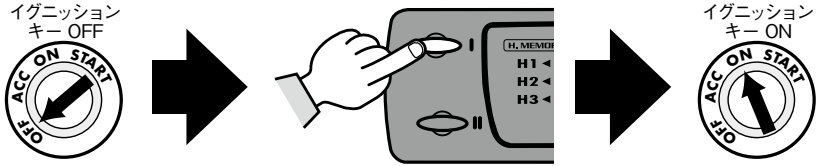
手動で初期設定画面を表示させます。

7ページ「初期設定のしかた」1へ

初期設定のしかた

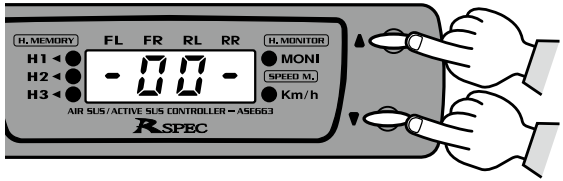
1 MODEスイッチを押しながらイグニッションキーをONにする

（初めて電源を入れた場合は必要ありません）

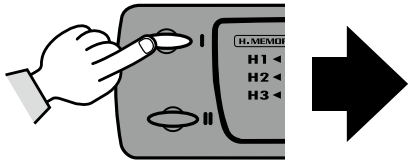


2 8ページの車種設定値一覧表を参照の上、装着した車種の設定値を選択する

※ 初めて電源を入れた場合は「 -00- 」と表示されます。



3 MODEスイッチを押すと初期設定が終了し、自動的に保安基準設定モード（9ページ）へ進む



保安基準設定へ（9ページ）

- 車種設定値を切り替えても、車種設定モードを終了させないと（MODEスイッチを押さないと）設定値が変更されませんのでご注意ください。
- 車種設定値はイグニッションキーをOFFにしたり本機を車両から取り外しても、本機に記憶されています。

車種設定値一覧表

●セルシオ マイナーチェンジ前(UCF31)
年式：H12.9～H15.7

●マジェスタ(UZS171・173)
年式：H11.10～H16.6

●マジェスタ(UZS141/JZS149)
年式：H3.10～H7.8

●マジェスタ(UZS151)
年式：H7.9～H11.9

●ソアラ(UZZ31)
年式：H3.5～H9.8

●シーマ(FGDY32)
年式：H3.8～H8.5

●インフィニティQ45(HG50)
年式：H1.10～H9.9

●プレジデント(JHG50)
年式：H2.10～H14.8

●プレジデントJS(PHG50)
年式：H4.2～H14.8

●シーマ(FGDY33)
年式：H8.6～H12.12

●セドリック・グロリア(Y31)
年式：S62.6～H3.6

●シーマ(Y31)
年式：S63.1～H3.8

●セルシオ(UCF21)
年式：H6.10～H12.8

●ランドクルーザー100・シグナス
(UZJ100W/HDJ101K)
年式：H10.2～

●マジェスタ4WD(UZS143)
年式：H4.10～H7.8

●アリスト4WD(UZS143)
年式：H4.10～H9.8

●セドリック・グロリア(Y32)
年式：H3.6～H7.5

工場出荷時のみ

保安基準設定のしかた

保安基準設定はスタンダードモードとスペシャルモード、２つのモードがあります。
下記を参照し、使用用途に合わせていずれかを選択します（工場出荷時はスタンダードモード）。

	エアサス車			アクティブサス車		
	車高設定段階	スーパー LOW 設定	走行中の操作	車高設定段階	スーパー LOW 設定	走行中の操作
スペシャルモード	16段階	○	○	8段階	○	○
スタンダードモード	8段階	×	×	8段階	×	×

スペシャルモード・・・・・・最大でサスストロークの限界まで車高が下がります。

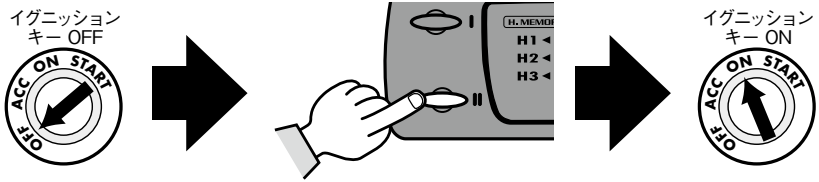
スタンダードモード・・・・・保安基準（停車状態で最低地上高9cm以上を保ち、かつ走行中に車高を任意に設定できない構造）内でしか車高が下がりません※。

※車体個々の状態や装備品（エアロ・マフラーなど）によっては、保安基準を満たさない場合があります。

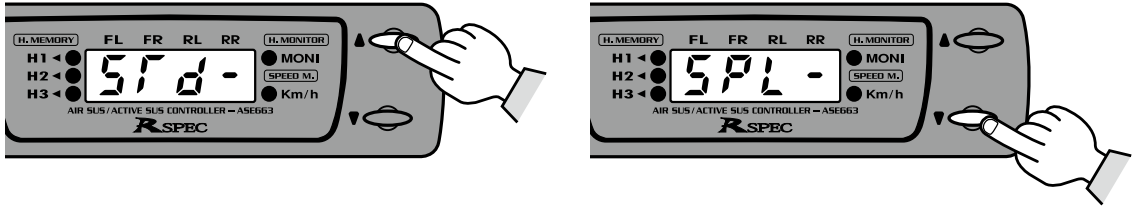
ワンポイント

保安基準設定終了後、車高設定値及び車速感応ハイトコントロール設定値は工場出荷時の状態に戻ります。

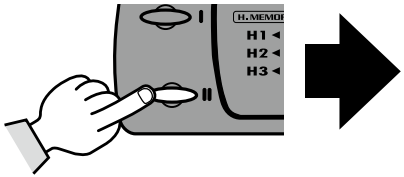
1 SETスイッチを押しながらイグニッションキーをONにする
（初期設定終了直後の場合は必要ありません）



2 現在設定されているモードが表示され、UPスイッチを押すと「SRd-」、DOWNスイッチを押すと「SPL-」に切り替わる



3 SETスイッチを押すと保安基準設定が終了し、自動的にH1選択＆車高設定値表示をおこなう



11ページ「普段の使いかた」へ

普段の使いかた

1 イグニッションキーをONにする

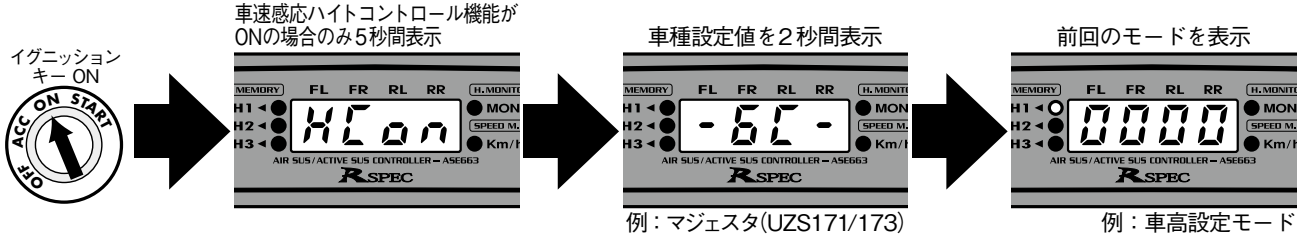
車速感応ハイトコントロール機能をONにしている場合、「HCon」が５秒間表示されます。
※ 車速感応ハイトコントロール設定方法(21 ページ) 参照

2 車種設定値が２秒間表示される

車種設定値（8ページ「初期設定値一覧表」参照）が２秒間表示されます（車種設定値が正しくない場合は必ず初期設定（7 ページ「初期設定のしかた」参照)をおこなってください)。

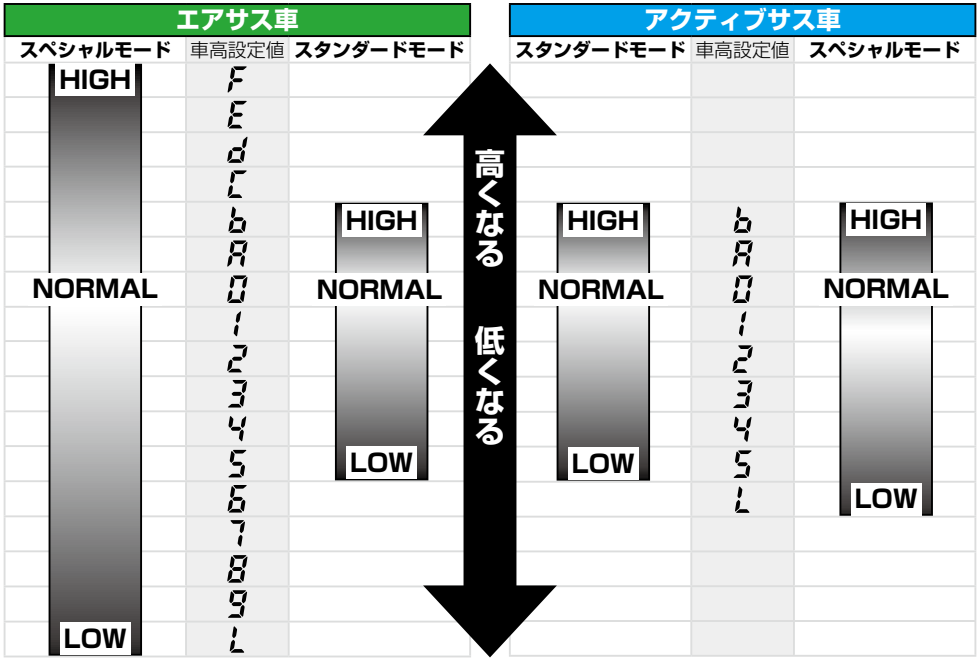
3 前回イグニッションキーOFF前に選択していたモードが表示される

[**車高設定モード**…車高を設定するモード：13 ページ]
[**ハイトモニターモード**…車内で車高の高さをモニターできるモード：19 ページ]
[**スピードメーターモード**…速度を表示するモード：20 ページ]
のいずれか



車高と車高設定値との関係

車高と車高設定値の関係は下図のようになっています。
※ 保安基準設定変更については 9 ページをご覧ください。



車高設定方法 - 初級編 - [四輪同時車高設定]

1 イグニッションキーをONにする

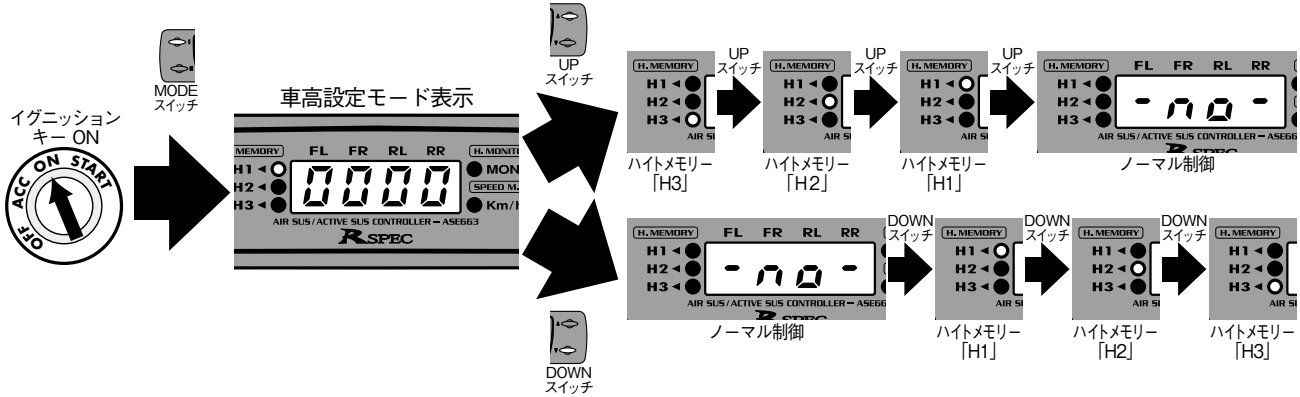
2 MODEスイッチを数回押して車高設定モードを選択する

3 UPスイッチを押すごとに、ハイトメモリー※1が「H3」→「H2」→「H1」→「-no-」※2の順で切り替わる

DOWNスイッチを押すごとに、ハイトメモリー※1が「-no-」※2→「H1」→「H2」→「H3」の順で切り替わる

※1 ハイトメモリー：本機は3種類の車高設定値をメモリー（記憶）できます。複数の車高設定値をメモリーするにはハイトメモリー「H1」「H2」「H3」それぞれに対して車高設定値を設定し、必要に応じて切り替えてください。

※2 ノーマル制御　：「-no-」を選択すると車高を含めた全てのエアサス（アクティブサス）制御がノーマル（本機を取り外した状態）に戻ります。



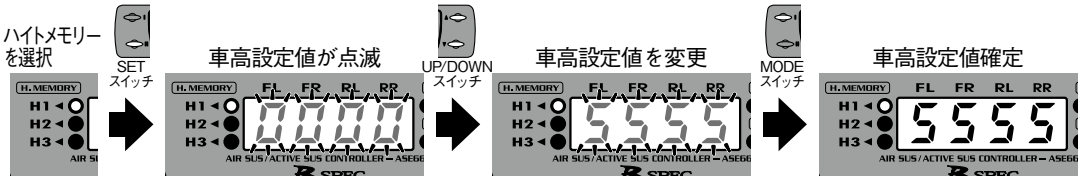
4 いずれかのハイトメモリーを選択し、SETスイッチを押すと車高設定値4ケタが全て点滅する

5 UPスイッチを押すごとに車高設定値が高くなり、DOWNスイッチを押すごとに車高設定値が低くなる

6 設定後、MODEスイッチを押すと車高設定値が4ケタ全て点灯し、設定完了

車高設定後、SETスイッチを押さずにそのまま1分以上経過すると、自動的に車高設定値4ケタ全て点灯した状態になります。

例：ハイトメモリー「H1」の車高設定値を0から5 に変更する



ワンポイント

前後またはフロント左右の車高設定値が異なった状態で４輪同時車高設定をおこなった場合、その設定値差を保ったまま値が変更されますが、最上限値または最下限値に達した値はそれ以上変化しなくなり、最上限値または最下限値に達していない値のみ変化します。

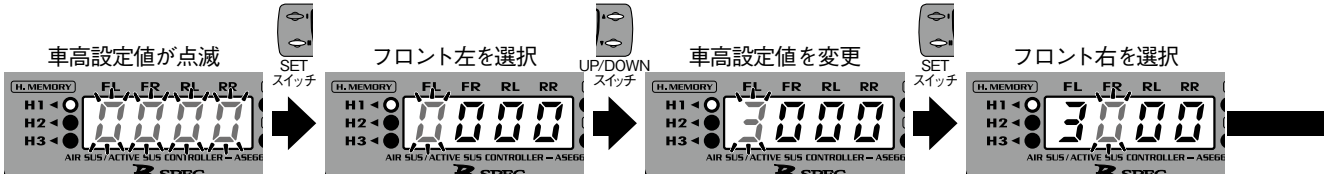
車高設定方法 - 中級編 - [前後独立車高設定＆フロント左右バランス調整]

1 イグニッションキーをONにする

2 MODEスイッチを数回押して車高設定モードを選択する

3 13ページ「車高設定方法 - 初級編 -」を参考に、ハイトメモリーを選択する

例：フロント左を 3、フロント右を 4、リアを 5 に変更する場合

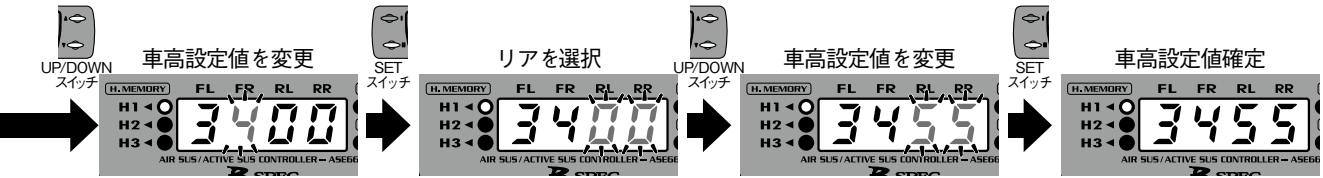


4 いずれかのハイトメモリーを選択し、SETスイッチを押すごとに「4ケタすべて」→「フロント左[FL]」→「フロント右[FR]」→「リア[RL&RR]」の順で車高設定値が点滅する

5 各車高設定点滅中、UPスイッチを押すごとに車高設定値が高くなり、DOWNスイッチを押すごとに車高設定値が低くなる

6 設定後、SETスイッチを数回押して車高設定値を4ケタ全て点灯させるか、またはMODEスイッチを押して設定完了

車高設定後、SETスイッチを押さずにそのまま1分以上経過すると、自動的に車高設定値4ケタ全て点灯した状態になります。



ワンポイント

- 前後独立設定をおこなう場合は、フロントとリアの車高設定値を変えてください。
- 左右バランス調整をおこなう場合は、フロント車高の高い側を下げるか、または低い側を上げてください。

車高設定方法 - 上級編 - [スーパー LOW設定]

スーパー LOW 設定・・・
車高をほぼ限界まで下げる機能です。

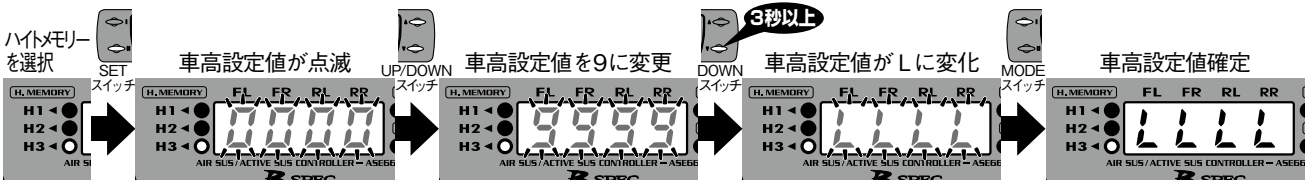
1 イグニッションキーをONにする

2 MODEスイッチを数回押して車高設定モードを選択する

3 「車高設定方法 - 中級編 - 」を参考に、車高設定値を「9」にする

4 車高設定値の「9」が点滅しているときに DOWNスイッチを３秒以上押し続けると、車高設定値が「9」から「L」に変わる

例：ハイトメモリー「H3」、四輪同時に車高設定値を「9」から「L」に変更する



ワンポイント

- スーパーLOW設定は前後独立でも設定することが可能です。
- スーパーLOW設定はフロントの左右を独立して設定することはできません。左右どちらかをスーパーLOW設定にすると、もう一方も自動的にスーパーLOW設定となります。
- スーパーLOW設定を解除するには、車高を上げる方向に車高設定値を変更してください。車高設定値が「L」から「9」に変わります。

ハイトモニターモード

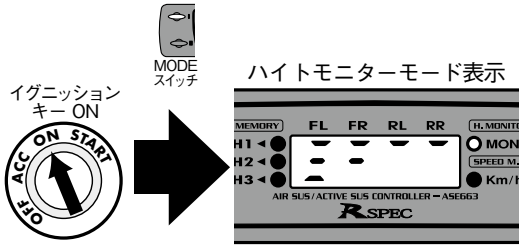
ハイトモニターモード・・・

現在の車高をリアルタイムに表示します。
車内で現在の車高を確認したい場合にご使用ください。

1 イグニッションキーをONにする

2 MODEスイッチを数回押してハイトモニターモードを選択する

3 3段階のバーグラフでフロント左・フロント右・リアそれぞれの車高を独立して表示する



ワンポイント

- この表示はあくまで車高の状態を確認するための目安であり、車高の状態を正確に確認することはできません。
- 走行中は車体の上下動により表示が変化します。また、停車中であっても表示段階の中間付近に車高が設定されていると表示が変化する場合があります。
- このモード中でもUPスイッチ及びDOWNスイッチでハイトメモリーの切り替えができます。

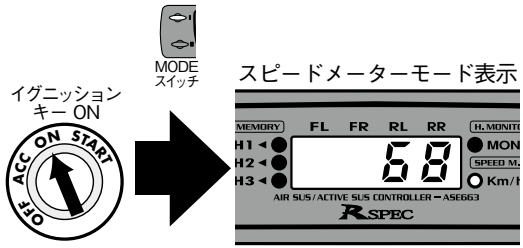
スピードメーターモード

スピードメーターモード・・・
現在のおおよその速度を表示します。

1 イグニッションキーをONにする

2 MODEスイッチを数回押してスピードメーターモードを選択する

3 速度を1km/h単位で最高 300km/hまで表示する



ワンポイント

- 純正スピードメーターと完全には一致しません。場合によっては、純正サイズのタイヤ使用時で±10%程度の誤差(純正サイズ以外のタイヤ使用時はそれ以上)を生じる場合がありますので予めご了承ください。
- このモード中でもUPスイッチ及びDOWNスイッチでハイトメモリーの切り替えができます。

車速感応ハイトコントロール機能 - 設定編 -

車速感応ハイトコントロール機能・・・

設定した速度で自動的に車高メモリーをH1からH2に切り替える機能です。

1 イグニッションキーをONにする

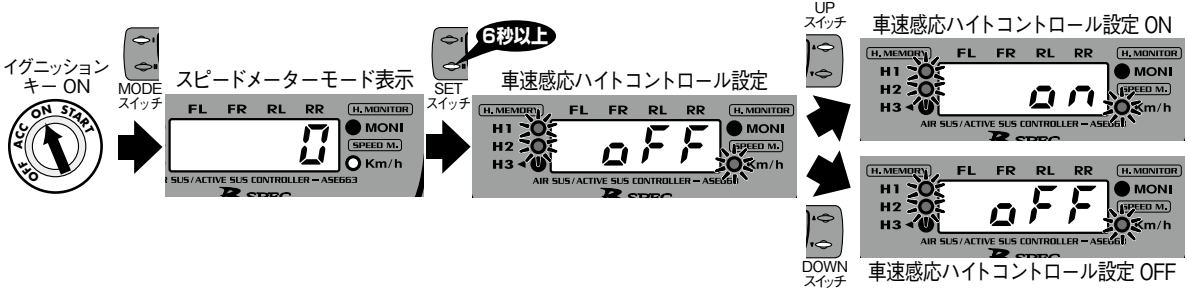
2 MODEスイッチを数回押してスピードメーターモードを選択する

3 SETスイッチを6秒以上押し続けると車速感応ハイトコントロール設定になる

H1インジケーターとH2インジケーター、km/hインジケーターが点滅するとともに、現在のON/OFF設定が表示されます。

4 設定モード中にUPスイッチを押すとON、DOWNスイッチを押すとOFFとなる

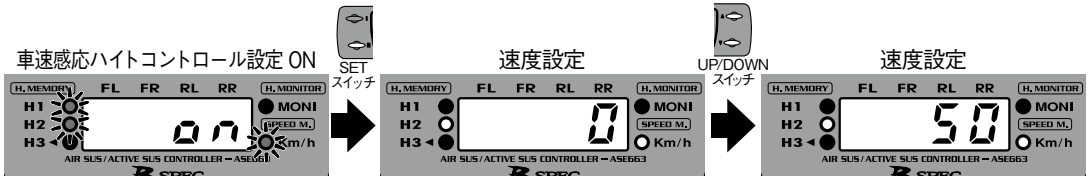
OFFに設定した場合は、SETスイッチまたはMODEスイッチを押すか、イグニッションキーをOFFにすると車速感応ハイトコントロール設定が終了します。



5 ONを選択した後SETスイッチを押して、※1メモリーがH1からH2に切り替わる速度※2の設定をおこなう

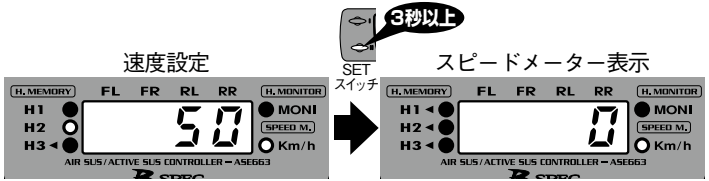
※1 MODEスイッチ操作は無効です。SETスイッチを押さずにイグニッションキーをOFFにすると、車速感応ハイトコントロール設定が自動的にOFFになります。

※2 車速感応ハイトコントロール設定範囲は10km/h単位で0km/h～100km/hです。



6 速度選択後、SETスイッチを3秒以上押し続けると設定終了※3となり、車速感応ハイトコントロール設定からスピードメーター表示に切り替わる

※3 MODEスイッチ操作及びSETスイッチ短押し操作は無効です。SETスイッチを3秒以上押し続けずにイグニッションキーをOFFにすると設定した速度はメモリーされますが、車速感応ハイトコントロール設定は自動的にOFFになります。



車速感応ハイトコントロール機能 - 動作編 -

車速感応ハイトコントロール機能ON設定後、この機能を動作させるための準備

予め車高メモリーをH1に切り替えておきます。

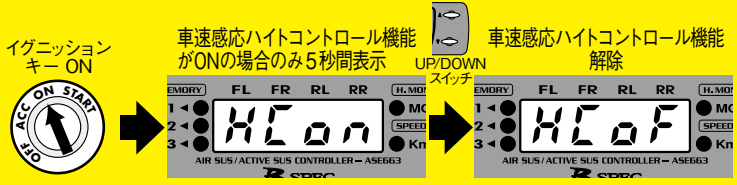
1 イグニッションキーをONにする

車速感応ハイトコントロール機能をONにしている場合、「 HCon 」が**5秒間**表示されます。

ワンポイント

この5秒以内にUPスイッチまたはDOWNスイッチを押すと下図のような表示に変わり、車速感応ハイトコントロール機能をOFFにすることができます。

再度ONにするには「車速感応ハイトコントロール機能 - 設定編 -」(21ページ)を参照の上再設定してください。



2 設定した車速になると、自動的にメモリーがH1からH2に切り替わる

切り替わると、どのモードであってもH2インジケーターとkm/hインジケーターが1秒間隔で同時に点滅します。

車速感応ハイトコントロール動作時

3 H2に切り替わった状態で設定した速度から10km/h下がると、ハイトメモリーがH2からH1に戻り、インジケーターが消灯する

ワンポイント

・車速感応ハイトコントロール機能を使用する場合は、使用する目的に応じて車高メモリーH1とH2を適切な車高設定値に設定しておいてください。

例 1：設定した速度で車高を自動的に下げる場合（80km/h で車高を「0」から「2」に下げる）

H1の車高を0に設定

H2の車高を4に設定

設定車速を80km/hに設定

例 2：設定した速度で車高を自動的に上げる場合（40km/h で車高を「4」から「0」に上げる）

H1の車高を4に設定

H2の車高を0に設定

設定車速を40km/hに設定

・車速感応ハイトコントロール機能によりハイトメモリーが自動的に「H2」に切り替わった後、手動でハイトメモリーを切り替えた場合、車速感応ハイトコントロール機能の動作がキャンセルされます。

故障かな？と思ったら

製品の調子が悪いとき、故障と判断する前に下記の内容をご確認ください。

症状	確認してください
電源が入らない。 車両側警告ランプが点滅または点灯する。	**●イグニッションキーをOFFにして3分以上経過してから、車種別専用ハーネスのコネクターを抜き差しして、接触を確認してください。** ●車種別専用ハーネスの品番をご確認ください。 ●初期設定は正しいですか？
車高設定が「5」より下がらない。 ハイパー LOW 設定ができない。	**●保安基準モードになっていませんか？ 9ページ「保安基準設定のしかた」をお読みください。**
イグニッションスイッチをOFFにしても本製品の電源がOFF にならない。	● UZS143 マジェスタ 4WD・アリスト4WD/UZS141・JZS149マジェスタ /UZZ31ソアラ /UCF11セルシオの場合、イグニッションスイッチOFF後、約3分で自動的に電源が OFF となります。
車高が左右で異なる。	●左右バランスを調整しましたか？ ●水平な場所で車高を設定しましたか？ **※左右で1～2cm程度の誤差が生じる場合がありますが、エア（アクティブ）サスペンションの特性上から起こるもので故障ではありません。**
設定しても車高が変化しない。	●スーパー LOW 設定後の場合、車高設定を「5」以上に上げてください。 ●エア(アクティブ)サスコンピューターが車高制御を中止している可能性があります。イグニッションキーをOFFにして3 分以上経過してから、バッテリーマイナス端子を 1 分以上外してください。 ※1 ～ 3 段階程度の設定変更の場合、エア（アクティブ）サスペンションの特性上から車高が変化しない場合があります。
走行中に車高が勝手に変化する。	●車速感応ハイトコントロール機能が設定されていませんか。21 ページをお読みください。 ※純正の機能により、車両側エアサスコンピューターが走行状況に応じて自動的に車高を変化させる場合があります。
車高が勝手に変化していることがある。	● 1 ～2cm程度の車高変化が生じる場合がありますが、エア（アクティブ）サスペンションの特性上から起こるもので、故障ではありません。
4 輪全て同時に車高が変化しない。	●車両側車高制御上の正常動作です。
駐車中に車高が下がっている場合がある。	●エンジン作動中以外は車高制御はおこなわれません。車両側サスペンションシステムの異常が考えられます。
エンジンを切ると車高がノーマルになる。	●日産アクティブサス車の場合はエンジンを切ると車高がノーマルに戻ります。

アフターサービスについて

製品に関してのご相談は当社サービス課までお問い合わせください。

●製品の調子が悪いとき（25ページ「故障かな？と思ったら」を参考に一度お調べください）。
●製品を破損、損傷してしまった場合
●製品の性能、機能に関してのご質問

メーカー保証について

付属の保証書に必要事項を全てご記入ください。特に販売店印及びご購入日の記入が無い場合、保証書は無効となります。
保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。

※ 保証期間はご購入日を含めて「1年間」となります。
※ ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。
※ 保証規定は保証書を参照してください。
※ 保証書は如何なる理由があっても再発行致しませんので、あらかじめご了承ください。

本製品に貼付されている封印シールをはがさないでください。はがすと保証期間に関わらず、保証対象外となります。

ユーザー登録の方法

製品に同梱の「ユーザー保証登録カード」に必要事項を全てご記入頂き返送いただくか、インターネット上にて登録をおこなってください。
URL:http://www.datasystem.co.jp/